



旧校舎に別れを告げ

香り豊かな新校舎へ

鷹巣小学校は創立110周年と校舎の改築落成で二重の喜び。二学期から新校舎で勉強できることになった児童698人は、8月22日旧校舎に別れを告げ、手に手に町旗の小旗を持って通い慣れた通学路をパレード。新校舎前では、出川町長が「新しい教育風土をつくってください」と激励。父母に見送られた児童は手渡されたマスターキーで新校舎に足を踏み入れ、香り豊かな教室へ向っていました。

人口と世帯数

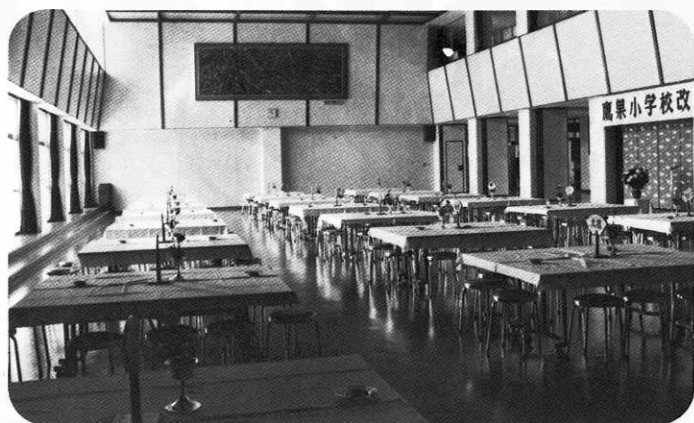
(住民基本台帳による)

7月31日現在	(前月比)
総人口 25,281人	(16人増)
/出生 23人	転入 58人
/死亡 12人	転出 53人
男 12,331人	(8人増)
女 12,950人	(8人増)
世帯数 7,289世帯	(2世帯増)

が改築落成

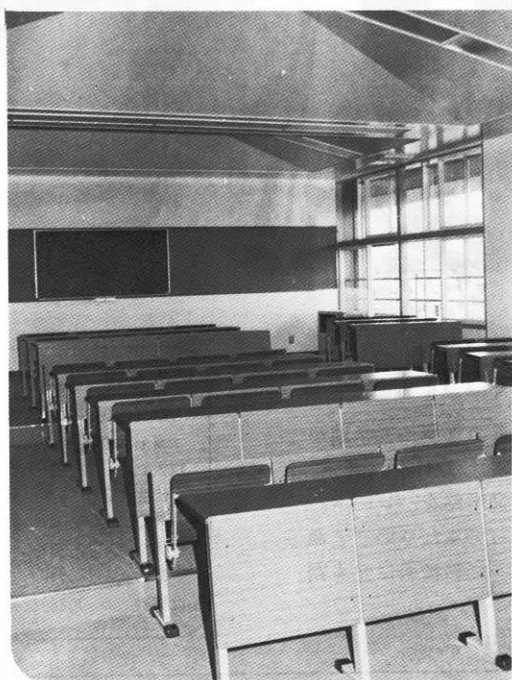


建築費は10億3040万円



▽全校生徒が、会食できるランチルーム

▽音楽室は、階段式で音響効果が抜群



鷹巣小学校では、校舎の老朽とグラウンドなどの校地が狭いことから、十億三千四十万円を投じて、昨年の八月から二カ年事業で移転改築工事を進めていましたが、このほど完成。八月二〇日喜びの落成式を祝い、二学期から新校舎で授業が開始されました。



鷹巣小学校は旧鷹巣中学校の校舎として昭和二四年一〇月に建てられたものですが、校舎の老朽が著しく危険なことで、土地の半分が借地で、グラウンドなどが手狭となっていました。

このことから、町では昨年の八月から二カ年事業で移転改築工事を進めていましたが、このほど完成。八月二〇日に喜びの落成を祝いました。

校地は二万九千四百七十一平方メートル、建物は校舎、体育館、調理場で七千六百八十八平方メートル、東西に広がる校舎二棟が、工型に結ばれており、普通教室はすべて南面むきで、日照と暖房効率を考慮しております。

低学年（一～二年）は平屋建棟、中高学年は二階建棟に分け

て、ブロック別の生活圏を設定しており、多様な学習活動に適応できるよう、ワークスペースの確保に工夫されています。

また、給食は学級、学年を越えて、約七百人の児童が会食できるようランチ・ルームが設けられており、児童間や教師とのコミュニケーションの場として、より人間関係が深められるように配慮されています。

事業費は、建築本体工事七億九千三百万円、機械設備工事九千九百万円、電気設備工事八千

万円、調理場建築工事二千七百八十万円、設計、監理三千六十万円、合計十億三千四十万円。

財源内容は、国庫補助金（危険校舎、不適格校舎、ランチルームなど）三億七千四百一十一万七千円、起債五億九千二百二十万、一般財源二億三百七十八万三千円となっています。

このほか附帯工事として、土地取得費三億七千八百十五万三千円、土地造成グラウンド整備費七千七百七十五万五千円、環境整備費他二千万円です。

2カ年事業で

鷹巣小学校

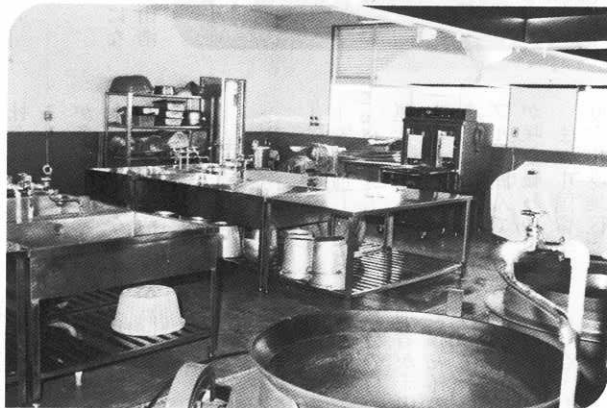


□二階の廊下は全長一〇七メートルもあります



△蔵書 5,500 冊と広々としたスペースの図書室

□校舎に併設された給食調理室は明るく、作業効率に工夫されている



□児童が調理実習もできる家庭室



新成人三六三人が

はたちの門出を祝う

中国の農業研修生も参加

服装の簡素化と帰省客が参加しやすいようにと、真夏の成人式に変更して、ことしで十四回目となりましたが、気温三十四度と蒸し暑い八月十五日、中央公民館で新成人の門出を祝いました。

二人（八八・七％）が出席しました。

出川町長は「権利や義務を正しく行使してほしい。また生活リズム、ユーモアを取り入れ変化のある人生を送ってほしい」と式辞を述べました。

式典に三三二人が参加

ことしの新成人は三百六十三人ですが、そのうち男百四十九人、女百七十三人の計三百二十

人（八八・七％）が出席しました。出川町長は「権利や義務を正しく行使してほしい。また生活リズム、ユーモアを取り入れ変化のある人生を送ってほしい」と式辞を述べました。



続いて、成人を代表して柴田英幸くん（舟場）が「権利の主張だけでなく義務と責任を重んじ、社会の一員として自覚をもつて行動したい」と答辞をのべ

三人が体験発表

記念事業では、「新成人になつて思うこと」と題して畠山浩



美さん（住吉町）、木村仁くん（前野町）、九島貞子さん（田中）の三人が体験を発表しました。

このあと、大野台営農高等学校に留学している中国留学生で、ことし二十歳になった周国臣くんと、劉志男くんが「日本の青年たち」「日本にきた目的」について記念講演。

「日本の青年は研究熱心で見習いたい」と営農大学校の体験を通して感想を述べ、また「日本はこんなおいしい米をなぜ減反するのだろう」とちよびり疑問。「緑が多く、資本主義の国というのに



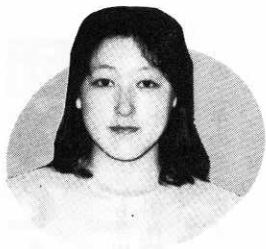
社会秩序が安定している」とのこと。また日本の農家は部屋数が多く、車、自転車、テレビ、トラクターなどを備え付けているので、生活水準が高いと感心していました。

思い出話しに花咲く

参加者が男女ごとに記念撮影したあと、正午から祝賀パーティーを開催しました。

パーティーは実行委員会の自主運営。ことしから参加者が千円を負担して行うもので、乾杯のあとは、久しぶりの再会にテーブルを囲んで、思い出話しに花が咲き賑わっていました。

また中国留学生と話し合ったリ、出身地区ごとの歌謡大会、ゲームなどで、はたちのスタートを祝い合いました。



東横町・佐藤 淳子

夢を手探りで探す“はたち”

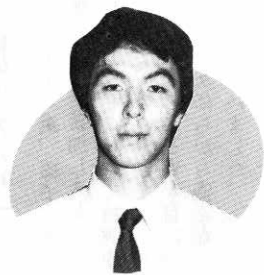
二十歳という年齢は、端からはその響きからだけでもロマンが感じられます。でも、私たちは皆、そのロマンを抱

きながら二十歳を迎えたものでしょうか。
もちろん、二十歳という言葉に胸を膨らませている人もいるでしょうし、また、野望を抱き切琢磨磨している人もいます。が、その思いは果たしていつまで続くものでしょう。
この、全てのものが多様化している時代に、私たちが精神的にも物質的にも次から次へと感化されないはずはありません。むしろ、終戦の年、三十八年前

に成人を迎えた方たちのほうが、当時ハングリーであったために夢や希望を必要以上に膨らませ、目的に向かって突進していたのではないかと、時代背景的には推察しますがどうでしょう。
とにかく、私たちは今“はたち”を迎えたばかりです。だから、「大きな夢を抱くべきはたち」なのではなく、「大きな夢」という字の一面一面を「手探りで探し始め得るはたち」なのです。少なくとも、私はそう考えております。



歌やゲームで楽しいひととき



あけぼの町・北島 一雄

責任をもって行動したい

二十歳になり「君はもう立派な大人だ」とよく人に言われるのだが、私にはその確かなる意識がない。二十歳とい

っても特別なものではなく人生における一つの通過点にすぎないと考えている。
しかし社会では、私の意識など関係なしに大人として扱われ、荒波に流されてしまっている。その荒波の中で必要以上に大人である事を意識しすぎると、本来の自分自身の姿を見失い、持てる能力を十分に発揮できなくなる恐れがある。私は、常に自分自身をしっかりと見つめて生きて行きたいと思っています。

自分自身を見つめ、己を理解する事が出来る様になれば、自ずと社会を見渡せるのではないのでしょうか。過去ほど自分自身でありうるものはありません。生まれた瞬間からの積重ねが、今日の自分であるのです。同時にこれからの未来も、現在の着実な積重ね以外にはないのです。
成人、この一言にいろんな意味が集約されています。もう少年Aではすまされません。これを機に、自己を正しく見つめ、責任を持って行動することを誓います。



中国農業研修生もパーティーに参加

町内子ども会相撲大会

団体で大堤が初優勝

第十六回町内子ども会相撲大会は、八月七日鷹巣体育館で行われ、団体戦では大堤が初優勝。個人戦の二年の部で佐藤孝徳くん（小森）、三年の部で藤島茂樹くん（愛宕下）でそれぞれ優勝を飾りました。

大会には、団体戦が六十九チーム、個人戦二年の部が六十七人、三年の部が六十四人参加。体育館にマット式の土俵を二つ特設して競技が行われました。当日は、三三・四度とうだるような暑さに、館内は熱気がム

ンムン。父母の声援を受けてチビッコ力士は、汗だくで健闘していました。

団体戦は三人制で予選リーグ、優秀三十二チームで決勝トーナメントが行われ、大堤は先鋒・三沢昭央くん、中堅・三沢靖彦くん、大将・石井悟くんのメンバーで、新星Aを2対1で破ったの初優勝。応援にかけつけた友だちの祝福を受けていました。成績は次のとおりです。

〔団体戦〕

▽決勝トーナメント二回戦＝南鷹巣A3―0田中B どじょっ

スポ少野球で“子鷹”が制す

ことしで七回目を迎えた町内スポーツ少年団大会は、八月四、五の両日、鷹巣農林高校野球場で開催。子鷹スポーツ少年団が二年ぶり三度目の優勝を果しました。

この大会は、小学校五年生以下を対象に七月二八日から同校で、スポーツ少年団野球教室を開設してきましたが、教室の総まとめと交歓を兼ねて実施されるもので、大会に

こA2―1新星B 大堤3―0糠沢1 舟場B2―1沢藤B
 新星A2―1どじょっB 舟場A3―0前野A 若葉2―1元気A 堂ヶ岱B2―1鷹舟B
 ▽三回戦＝南鷹巣A3―0どじょっA 大堤2―1舟場B
 新星A2―1舟場A 堂ヶ岱B2―1若葉
 ▽準決勝＝大堤2―1南鷹巣A 新星A2―1堂ヶ岱B
 ▽三回戦＝南鷹巣A2―1堂ヶ岱B
 ▽決勝＝大堤2―1新星A
 〔個人戦二年の部〕
 ①佐藤孝徳（小森） ②佐藤嘉孝（舟場） ③高谷和則（舟場）
 〔個人戦三年の部〕
 ①藤島茂樹（愛宕下） ②佐藤義彦（愛宕） ③柏木昌晃（舟場）

は南、中央、東、綴子、西、子鷹の六団が参加しました。選手は、来年に向けて特訓中とあって、勢い余ってボールを追い外野を走る姿が目につき父母や友だちから盛んな声援を受けていました。

決勝は東スポーツ少年団と子鷹スポーツ少年団の対戦となりましたが、ミスを最少数に食い止めた子鷹が三度目の優勝を飾りました。



町長日記

出川禮一

8月1日～15日

■1日(月) 大野台開発推進協議会及び鷹角線北口期成同盟会。両会は会員に若干の違いがあるが鷹巣阿仁部の各町村にとつて重大な係りのある会である。阿仁合線は第三セクターによる存続の申入れを県に行う。各町村間負担の円滑についての協議が主であった。

■3日(水) 鹿角北秋田各町村の老人クラブ大会が中央公民館で行われた。「政治行政における役割は当然ながら、福祉の原点は先づ家庭から、そして地域からである。与えら

れることのみならず自から求めることが必要だ」と祝辞を述べた。

■5日(金) 秋田市で県市町村公立学校施設整備期成会が開催。当町では鷹小建築環境整備に本会の機能が活かされた。

■7日(日) 午後5時から行われた川口会館改築祝賀会に出席。二十数年前の建築であるが整った広さ、間取りといい現在尚、異彩を放つ。さすが生活改善の先進地・婦人指導者中島照女史の余韻あり。婦人会活動は全町一であると賛えた。

■8日(月) 合川町で町民体育館の竣工式が行われ、町村会長として出席し「社会体育の充実多くの住民が活用してほしい」と祝辞を述べた。

■9日(火) 道路整備期成同盟会（秋田市）に出席。地方道の整備促進を訴える。

■11日(木) 町内のおはよう野球の決勝と閉会式が鷹巣球場で行われた。町内の職場、地域、グループの五十三チームで、二百六十試合を消化した若人の健闘に祝意を表した。

■11日(木) 全国治水砂防協会東北地区総会で、田沢湖ダム工事現場等視察した。百三十有余の住宅等移転。滞水面積は国内有数。多目的ダムでは県内最大の規模となる。

■12日(金) 東北中学校野球大会で、鷹巣中学校が青森県代表の三沢二中を破って初優勝。全県大会の雪辱を晴す。夜、町内パレード。役場前の報告会で「目指すは全国一」と激励。

■15日(月) 盛夏の成人式にもかかわらず三百二十二人が参加。祝賀パーティーでは若者たちと話がはずみ、楽しいひとときを過ごした。



盛夏のお盆



△上舟木では、14日に墓前で獅子、駒、奴っこの踊りを披露していました。

七月は雨天続きで冷害が心配されましたが、八月に入ってからは一変して晴天となり、連日三十度を越す真夏日で、タオル片手に水銀柱をにらめるといううつつしい日々となりました。祖先の霊を供養するお盆期間中は、町内は都会や嫁ぎ先からの帰省客で賑わいをみせていました。

また各地区では暑気払いの行事が盛りだくさんで、上舟木の「駒踊り」や前山の「ジャコ釣り舞い」などは墓前で厳粛に行われ、



神社の木影でチビッコの相撲も

おしらせ

五九年歌会始

お題は「緑」に

昭和五九年歌会始めのお題および詠進歌の要領が、次のとおり決まりました。

▽お題「緑」

▽詠進歌の詠進要領

①詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限る。

②用紙は、半紙（習字用の半紙）とし、毛筆で自書

③毛筆で自書することができない場合（病氣、身体障害）、他人が代筆しても差し支えありませんが、代筆の場合は、すべてその理由を書いた別の紙をそえてください。盲人の方は、点字でもよい

④書式は、半紙を二つ折りにして、右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（ふりがな）生年月日及び職業を記入のこと。

▽注意事項

次の場合には、失格となります。

①一人で二首以上詠進した場合

②詠進歌がすでに発表された歌と同一又は著しく類似した歌である場合

③詠進歌を歌会始の行われる日以前に、新聞、雑誌その他の出版物、年賀状などにより発表した場合

④その他この詠進要領によらない場合

▽詠進の期日

一〇月一日までの消印が有効

▽郵便のあて先

〒100 東京都千代田区千代田一番一 宮内庁とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

表した場合

④その他この詠進要領によらない場合

▽詠進の期日

一〇月一日までの消印が有効

▽郵便のあて先

〒100 東京都千代田区千代田一番一 宮内庁とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

停電のお知らせ

九月の作業停電は、次の地区です。

▽1日 舟見町東北製鋼付近 午前九時から午後四時まで

▽12日 川口、湯車地区（午前九時から午後二時まで）

▽13日 伊勢町地区（午前九時から十時半まで）

交通安全の作品募集

交通安全に対する認識を高め、交通事故の防止を図るため、一般県民及び県内の大学、高等学校、小・中学校の学生、生徒、児童を対象に、交通安全に関する作品を募集します。

▽募集種目 標語、作文（論文）ポスター（図画）

▽締切り 九月三〇日（当日消印有効）

▽送付先 秋田市山王四丁目一

一 秋田県生活環境部交通安全対策課へ



東北チャンピオンの河田カチ子さんが民謡を披露



仮装が登場し、見物客の目を
楽しませた銀座通りの盆踊り

伝統行事の重厚さを感じさせて
いました。
また日中はスポーツ行事に汗
を流し、夜はそれぞれの地区で
盆踊りを実施。家族づれて踊り
の輪を大きくしていました。
二十八年の伝統を誇る「銀座
通り盆踊り」は十五日から十七
日まで二日間行われ「女相撲」
や「七福神」「白雪姫」などの
仮装が登場。通りには「重の輪
ができ、見物客の目を楽しませ
ていました。



子供や婦人会が参加した青山荘の盆踊り

東北中学校野球大会で

鷹巣中学校が初優勝

第五回全国中学校野球大会
東北大会は、八月一、二
の両日秋田市の八橋野球場で
行われ、鷹巣中学校が初優勝
を飾りました。

鷹巣中学校は、先きに行わ
れた全県大会で生保内中学校
に1対0で惜しくも破れまし
たが、東北大会では試合ごと
に実力を発揮。初戦の気仙沼
中学校（宮城）は9対1で圧
勝。準決勝は水沢中学校（岩
手）を1対0で破って決勝に
のぞみました。

鷹中では三沢第二中学校（青
森）と対戦。藤木正文投手の
力投で2対2の接戦で好試合
が展開されましたが、延長八
回中島聡くんの三塁打と、後
続打者の選球で一点をあげ、
結局3対2で優勝を飾りまし
た。



優勝した鷹中ナイン
は、一二日午後六時三
〇分に駅前から優勝パ
レードが行われ、ブラ
スバンド、応援団を先
頭に、真っ黒に日焼け
した顔で、商店街通り
を行進。沿道を埋めつ
くした観衆から盛んな
拍手が送られていまし
た。

役場前で行われた報
告会には、二千人のフ
アンが集まって「目指
せ全国一」の激励を受
けて優勝の感激を新め
てかみしめていました。
なお、全国大会は八
月二日から二五日ま
で横浜で行われました。

老後の生きがい 創造の学習を

社会教育委員会



今年度第一回社会教育委員会は、八月四日開かれ「昭和五八年度の社会教育計画」「高齢者教育の策定」などを協議しました。

家庭教育など

八つの重点施策

五八年度の社会教育計画は主な施策として、つぎの八つのことを掲げています。

▽家庭教育を学習する機会を多くする。

▽子ども自身が主体的な活動するような子供のあり方を研究する。

▽学校教育と社会教育の連携をつよめる。

▽文化祭を中心に「町づくりと

文化」についての考え方を高める。

▽中央公民館に分館を設置し芸術活動、郷土資料整備など充実の場とする。

▽郷土文化の継承育成をはかる。

▽高齢化社会に対応する社会計画を立てる。

▽町の文化財の調査研究をすすめる。

社会教育

「生きがい創造」の

鷹巣町の社教中期（五カ年）計画では、第一テーマ「青少年育成」第二「産業経済と生活文化学習」第三「コミュニティづくり」としているか、このたび第四テーマ「老後の生きがい創造

をめざす社会教育」を策定することにし、つぎのことを話し合いました。

日本の国は今、世界最高の長寿国となり、いまだかつて経験したことのない高齢化社会を迎えようとしています。

このことは結構なことではあるが、心配される問題も多く、「自ら学び、生きがいを自らつくっていかねばならない」というのが趣旨で、つぎのような具体的施策を出しています。

▽老人クラブの充実「若い世代との交流や、高齢者のもっている能力の活用をはかる。」

▽老人をいたわるコミュニティづくり「孤独な老人、体の弱い老人をいたわる社会。」

▽老人の教養を高める学習「生き方学習で不安解消」

▽老後の生活設計学習の奨励「中高年層の老後生活設計の学習活動をすすめる。」

▽自主的健康管理と余暇利用「老人にふさわしいスポーツやレクリエーションの研究。」

▽「だんらん」のある家庭づくり「手づくりの家庭生活」のよさを認め奨励する。

▽高齢期の見直し「科学技術優先の社会から、老人をいたわり尊敬する社会へ。」

社会教育委員「佐藤秀男、出川喜英、中島喜代、朝日了回、成田ミネ、寺田富士夫、堀内由蔵、北島洋子、佐藤実、委員長相馬文夫

ふるさと 人物伝 50

高村 禪雄

一八九八—一九七六



昭和四五年、沢口小学校が中央小学校に生まれかわった時、校歌の作詞は郷土の先覚者、高村禪雄氏であった。彼は、脇神の天昌寺八世の住職であったが、苦学力行により学問と教育の道を開拓された方である。

明治三十一年、上小阿仁村杉花の常光寺住職禪応の長男として生れた彼が、三歳の頃一家は脇神の天昌寺に転住した。

沢口小学校、鷹巣小学校高等科準備場を卒業後、僧侶の資格を得るため仙台の曹洞宗中学林に入学、成績優秀で、月一円五〇銭の奨学金が支給される。しかし家の事情でア

ルバイトとして舎生二五名の炊事も引き受けた。そして更に大正一一年、曹洞宗大学（現駒沢大）卒業、一時東京市政調査会に就職するが、東北帝国大学、法学部に入学する。日本思想史を目標に古代史に取りくんていたが、国語学の大家山田孝雄氏の研究態度にひかれ、古事記の語法の研究に転ずる。

卒業と同時に母校駒沢大学教授となり一三年間つとめる。いよいよ戦争苛烈になると郷里に残した母親の近くにと秋田師範に転任、昭和二三年大館桂高校長となる。

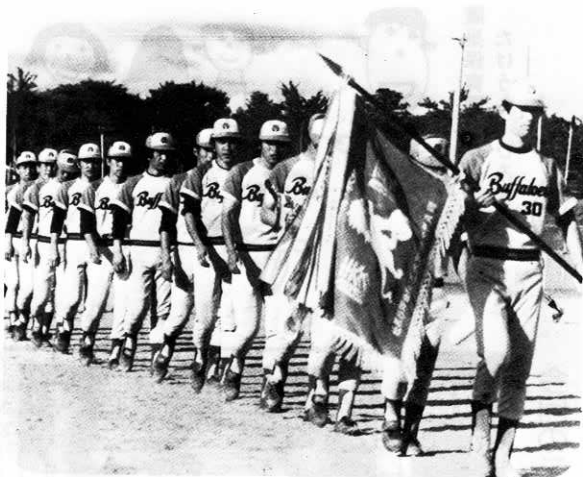
戦争のため荒れていた教育施設の整備、学級数の増加などに勢力的で、県庁では彼の顔を見ると「今度はどんな要求ですか」と先に尋ねられたと笑っていたという。

昭和三十三年退職と同時に東京都世田谷区中高校長に招へいされ、駒沢大講師も兼ねて一四年間つとめる。

彼は自分の前に立ちほだかる問題から逃げることでできない性分、ものごとくに熱中し、甚は日本棋院五段である。

著書に「日本文学史」などがある。昭和五一年没。

（資料 未亡人高村文江氏の回顧手記、本間三義氏談）
文責 中央公民館長 長崎久



バッファローズが県大会へ

5月1日から開始された第16回おはよう野球大会は5ブロックで260試合余りを消化して8月8日から10チームにより決勝トーナメントが行われました。11日早朝の決勝戦は鳳クラブが1対0で電通鷹巣クラブを破って優勝。14日から行われた北秋子選では町から6チームが出場しましたが、バッファローズが6対5で電通鷹巣を倒して「代表権」を獲得しました。



油の流出にそなえて

小猿部川に油が流出したという想定のもとに、8月10日に大がかりな回収訓練が行われました。

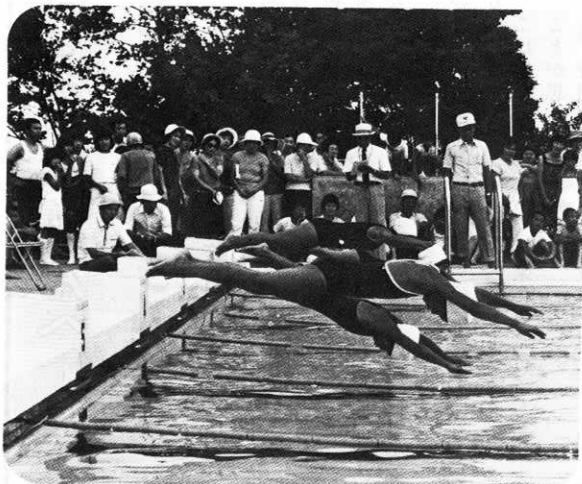
訓練水質警報の通報を受けて、県北の市町村から公害、消防担当者など約50人が小猿部川の堂ヶ岱橋下流に集合。炎天下のなかを手際よく作業を進め、ボート

で川面もオイルフェンスを張り、下流への流出を防ぐとともに、回収する訓練でした。



真っ黒に日焼けしたチビッ子が、秋田県が生んだオリンピック選手・長崎宏子に続けと水しぶきあげて力泳する町内小学校水泳大会が8月17日西小学校プールで行われました。ことしで5回目をむかえた大会は、5、6年生約250人が参加。父母の声援をうけて自由・背泳・平泳ぎの50m 100mで熱戦が展開。7個の大会新記録が出て関係者を喜ばせていました。

オリンピック目指し力泳



闘病生活を送りながら、昨年夏から書き綴っていた材木町・藤島房子さん(43)が、このほど「房子の日記」

を出版。8月9日入院先きの北秋中央病院で家族や友人など関係者が出席して盛大に出版記念会を開きました。体に走る激痛をこらえて書き綴った「日記」はA5版で213ページ。1,300円で書店で販売されていますので、みなさんもお求めになってはいかがでしょうか。

闘病生活「房子の日記」出版

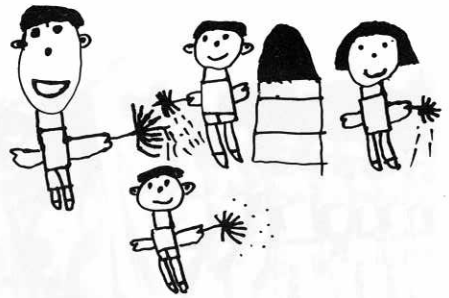
「房子の日記」出版記念会



の広場



鷹巣保育園
たけうち ひろきくん(5歳)



家には中一の娘と小一の息子がおります。娘の小学校時代の小遣いは、ほしい時にやる程度でその額は少なく月に数えるほどでした。私が、家にいるためおやつなどは不自由なくほとんど無駄遣いはしませんでした。でも四月から中学生になり、何かと物入りになるのではないかと思います、月二千円わたしていただきますが、それも週二回の塾への



千葉 正子(35)

姉と弟のちがいは

今回のテーマ『小遣いの額と使い方』

バス代(片道のみ)になるようにバス代は別にやるから「好きなように使えば」と言ってもバス代の残りではほしいものを買っているからと言うし、当分値上げの必要もないようです。ところが、息子の方は、二年間町へバス通園したので、町へ行きたがり、いままんが本やプラモデルに夢中です。買物に連れて行くと「買わないから見るだけだよ」と先手をうたれて苦笑してしまいます。見るだけで満足の時もありますが、安くて気に入ったものを買ってくれるまで、あきらめなものは娘と違うところです。普段小遣いを与えないので息子には、月一回の楽しみとなっています。

読者の意見・子供の意見



カリン
(バラ科)

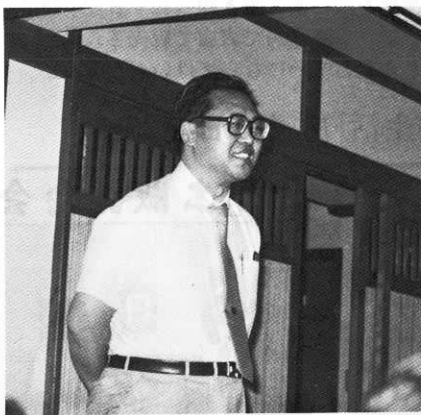
中国原産の落葉高木、春うす紅色の花をつける。果実はぶら下がるようにつける。果肉はかたくて食べられない、果実酒は輪切りにして作る。セキ止め、疲労回復に服用する。

(南小学校 畠山 益穂先生)

ふるさとのみなさんへ

二十五年ぶりのクラス会で

埼玉県川越市・簾内 隆一(41)



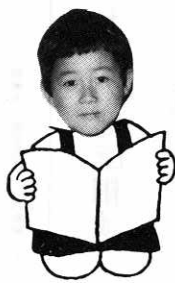
昨年、中学校時代のクラス会があった。今はなくなったが、七座中学校三十三年卒業生四十二名。参加者は半分の二十一名で、女性十一名、男性十名でした。昔の記憶をたよりに、お互いの名前と顔を確認し合いながらの始まりでしたが、あれやこれやと、次々にいろいろなことが思い起こされて談論風発。時間の経つのがこれほど惜しいとは思っても見ませんでした。二次会、三次会と鷹巣の街を飲み、語り歩きました。殆どの人は、実に二十五

年ぶりの再会でした。鼻たれ小僧の年ごろから、何やら物ごころのつくまでの九年間、机を並べた仲間との一日は、私にとっては二十五年間の歳月をタイムマシンに乗って一気にさかのぼり、過ぎし、なつかしの日々をめぐる楽しい旅行でもありました。既に故郷を離れて生活した期間が長いにもかかわらず、お盆や正月が近づくと、「いなかへ帰りたいなア」という気持がふつと湧いて来ます。今年もまた、とんぼ帰りの日程をやりくりして、みんなに会いたいものと思っています。

▼簾内さんは、産業教育センターに勤務し、全国の企業教育、研修を担当して活躍中です。今泉出身ですが、母・簾内タカさんは糠沢に住んでいます。



鷹巣保育園
ながさきゆきこちゃん(5歳)



みんな

二人とも今後成長するにつれてどのように変わっていくのかわかりませんが、無駄遣いはしないようにと、願っています。

金の大切さがわかった



西小5年 宮川 泰之

ぼくのこづかいのがくは、四年まで五百円だったが五年になったら八百円に上げてもらった。その理由は成績がすこし上がったからだし、お母さんが「何円ほしい」と聞いたら、ぼくは「八百円」と言ってみた。ぼくは三百円は上げないと思ったが「よし」といったからです。だから今は「八百円」と言っ



保存食

新鮮な野菜や果物
が豊富なこの季節、

保存食を手作りしてみませんか。家庭で保存するときに、もっとも手軽で便利なのは、びん詰め。貯蔵専用のびんもあります。ねじぶた式で、ゴムのパッキングがついているものならたいてい使えます。

保存の手順は、本体、ふた、締め具（パッキング）などを全

てそんじたと思っている。五年生の五月までは、毎月一回のこづかいをもらうと本をかって、プラモデルの所に行つてほしいものがあつたらかってきました。四年生のときは「えい、どれでもいい」と思つて、適当なプラモデルを買つて後かいしたことがあります。

もらった八百円全部を使ってプラモデルを買ってきたら、お母さんに「おこづかいは、少しずつ使ふものだ」と言われた。これからは低学年みたいな使い方をして、五年生だから高学年らしく計画を立てたい。

大人になり働きに出てきゅうりようをもらつても、うまく使えると思います。こづかいをもらうようになって、がまんすること、金の大切さがわかりました。今度は金を貯めて旅行したいと思っています。

部煮沸消毒します。

作りたての保存食を、殺菌したびんに手早くつめ、内側にパッキングをはめたふたを軽くのせます。

蒸し器の中敷きにふきんを敷き、食品をつめたびんを並べ（ふたは軽くのせたまま）、湯気が上つてきてから一〇分―一五分くらい蒸します。

殺菌時間は、種類によって異なり、ジャムやマーマレードなら一五―二〇分、つくだ煮類三〇分、水煮類は一時間程度です。



昭和31年にグランドで行われた体育大会の風景。当時の鷹小体育館の屋根から撮影したもので、自転車で応援にかけつける人がほとんど。現在は中央公民館、電報電話局や住宅がたちならんでいる。北秋中央病院も5階建てに改築されている。(写真提供は上野・佐藤正雄氏)

たかのすの昔



おしらせ



一線美術会連合会 九島家三氏

九月の健康相談

九月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、一四日と二八日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、五日と一九日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。時間は、午前一〇時から一一時四時まで。

時まで。
※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◇ ◇

離乳食実習指導は、二九日〓五八年二月生まれとなつています。

受付時間は、午前九時半から一〇時まで。

◇ ◇

乳児健康診査は、二九日〓五八年五月生まれとなつています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。おいでの時は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

◇ ◇

三歳児健康診査は、六日〓五五年七月、八月生まれとなつています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。おいでの時は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。
※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。

九月は、▽二日〓七日市▽九日〓栄、七座▽一六日〓沢口▽二二日〓綴子地区となつています。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

予防接種

※旧鷹巣地区は、中央公民館保健室で行います。(第一、第三月曜日)

生後一四カ月から四八カ月(五

四年九月六日から五六年九月六日)までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種は、鷹巣地区以外の方は六日、鷹巣地区の方は七日に行います。

受付時間は、午後一時から二時半まで。場所は中央公民館ホールで行ないます。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

結核検診

結核検診が八月一六日から九月二八日までの期間、各地域で実施されます。

日程は、随時広報に掲載いたしますので、忘れずに受診してください。

九月一日から一六日まででは次のとおりです。

- 1日〓川口、湯車(川口会館)
- 小ヶ田(会館)
- 蟹沢(会館)
- 12日〓松原(堀内信夫宅前)
- 田子ヶ沢(会館)
- 小田(会館)
- 上町(綴子児童館)
- 13日〓前野(会館)
- 大堤(会館)
- 下町(綴子基幹集落センター)
- 14日〓糠沢(会館)

県立衛生看護学院の学生募集

学院の学生募集

県立衛生看護学院では、昭和五九年度の学生を募集しております。

この募集は、看護科(三年)三〇人、看護科(二年)四五人保健科五〇人、助産科一五人となつており、願書の受付は五九年一月中旬です。

募集要項及び受験願書の郵送を希望する方は、一二〇円の返信用切手を同封し、返送する場合の住所を明記してください。

提出先〓秋田市千秋久保田町六番一〇号 秋田県立衛生看護学院

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ご芳志に深く感謝いたします
- ▽花園町〓河田嘉七さんから亡父安蔵さんの香典返し
- ▽大町〓成田庫之助さんから亡母ハマさんの香典返し
- ▽花園町〓桜庭稔さんから亡父栄蔵さんの香典返し
- ▽旭町〓桜田俊さんから亡父専

蔵さんの香典返し
▽旭町〓梅田明人さんから亡母サミさんの香典返し

慶弔だより

誕生おめでとうございます
8月1日〓8月15日

- 高橋 将智(正征) 二男 綴子町
- 金沢亜紀子(司) 長女 掛泥
- 藤原 大樹(幸男) 長男 下舟木
- 野呂 明正(進) 長男 大堤
- 村上 浩行(尚孝) 長男 掛泥
- 大川 将史(秀雄) 長男 南鷹巣
- 小松 尚輝(明夫) 二男 あけほ
- 佐藤 翔子(裕) 長女 新舟見町
- 三上 雄大(一清) 二男 三ノ渡
- 小笠原里美(良夫) 長女 前山
- 近藤 育子(与一郎二女) 南鷹巣
- 五代儀夏美(義富二女) 元町
- 二人の前途を祝福いたします
- 成田 高夫 南鷹巣
- 竹内 麻貴 大曲市
- 大嶋 富治 森吉町
- 寺田 あゆ子 大町

おくやみ申しあげます

- 五代儀次美(56歳)松葉町
- 梅田 サミ(55歳)旭町
- 小林 一郎(73歳)元町
- 成田徳治郎(73歳)松葉町
- 河田 勝子(76歳)元町
- 鈴木 為吉(75歳)あけほ
- 成田 一次(78歳)米代町
- 出川与五郎(70歳)糠沢
- 富田 チタ(79歳)松葉町